

「学ぶ力」	
成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ◇新しく学んだことを、他の学習や生活の場面で使おうとしている。 ◇「意見を発言する前に、自分の考えがうまく伝わるように、話の内容や順序を考えている」の項目が学年進行に伴い向上している。 ◇意見の違う人ともよく話し合おうとしている。 ◇人の意見を聞いて、それを参考にして自分の考えを見直すことがある 	<ul style="list-style-type: none"> ◇得られた知識や技能を活用して、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力を身に付けること。 ◇自ら学習計画を立て、実行する力の向上。（「自分で計画を立てて勉強している」生徒の割合が少ない） ◇目標設定や時間管理を含め、生活を自己調整する力の育成。
「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度〉の現状と課題	
<p>◇「人の役に立ててうれしいと感じることがある」の肯定的回答が9割を超える一方で、「自分は必要とされていると感じる」と答えた生徒は7割程度である。昨年度と比較して伸びてはいるが、ギャップがあるのが現状である。話し合い活動や協働的な活動により、自己肯定感を高め、自分が必要とされていると実感できるような支援が必要である。</p>	

「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

見通しをもって自ら物事を前に進めていく力

取組	課題探究的な学習の推進 に向けて	自治的な活動の充実 に向けて
	<ul style="list-style-type: none"> (1) A A Rの視点による授業実践を心がけ、話し合い活動を積極的に取り入れる。 (2) 学習や各種活動に見通しをもって、自ら物事をより良い方向に進めていく姿勢が身に付くようにする。 (3) ICT 機器を利活用し、個別最適な学習の充実を図る。 (4) 少人数指導や TT を積極的に活用する。 (5) 個に応じた学習支援を充実させるために、放課後の自習サポート等を強化する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①自分が思っていることや感じていることを人に伝え、意見の違う人ともよく話し合おうとすることで、主体的にさまざまな課題を解決し、生徒自身が自分の「伸び」を実感して、新たな目標を設定できるような活動の充実を図る。 ②ソーシャルスキルトレーニングを継続する。 ③生徒会による R S P (Re : School Project)の活発化を図る。 ④生徒会企画 清掃ボランティア活動を実施する。
「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICT の活用について		
<ul style="list-style-type: none"> ◇クロームブックの利用について、ルールなどを共有するための動画を作成し、全校共通で指導する機会を設ける。 ◇Google workspace等で各自の意見を集約して可視化するなど、一人一人の意見や考えが反映するシステムを生かす。 ◇デジタル教科書などを有効活用し、興味関心を高めたり理解を深めたりすることで、より一層主体的に学習に取り組む力を育成する。 		

<本プログラムの実行に向けて>

